



会報

第18号

発行者

青葉区ねことの暮らしを考える協議会

協議会事務局 PHS:080-3497-2049・045-978-4976

会長 馬場和清

平成23年8月25日発行

東日本大震災ペットレスキューに携わって

ニュータウン動物愛護会のメンバーと個人ボランティアさんで『災害ペットレスキュー横浜』を立ち上げたのが4月。距離的な限界を感じつつ、震災と原発事故の起きた福島県の警戒区域内とその周辺のパットレスキュー活動を行っています。現在までに犬15頭、猫22頭を保護しました。

どの動物も飼い主さんとのドラマがあります。偶然通りかかった私たちがペットレスキューと分かると、「おらの犬も乗せてってくんねえかな。」とずっと下を向いたままの葛尾村のおじいさん。「原発さないとこ行って可愛がってもらえ。」と愛犬を託した飯館村のお母さん。

地割れの道をゆっくり進んでいると、その音を聞きつけて「待つて〜〜〜！」と言わんばかりに走り寄ってくる猫。みんなみんなつらい思いを抱えています。私たちボランティアは安心して眠れる場所と食事を提供して、いつか必ず家族として迎え入れてくれる家を見つけてあげたいと頑張っています。

今までのところ、気になる放射線に関して基準値を超える動物は一匹もいませんでした。そのため除染も必要ありませんが、シャンプーは済ませておりますのでご安心いただけます。

新聞発表では警戒区域内に残されたペットはおよそ1000匹とか。しかしその数倍はいると思われま。

県、獣医師会や動物救援本部がどれだけシェルターを用意してもすぐにいっぱいになってしまいます。えさやりが精一杯の現状でもあります。

そして二次災害。放し飼いになった犬猫たちが次々子どもを産んでいます。人間を知らず成長している犬猫たちがこの現代の日本にいる現実を信じられますか？

三つ子の魂百までといいますが、何とか小さなうちに保護し、野生化する前に人間の手のぬくもりの中に戻さなければ・・・そんなことを思い、又被災地の一日も早い復興を願いながら、終わりの見えないレスキュー活動を続けています。

お問い合わせいただけましたら活動の近況などもお伝えいたします。又福島での被災のパネルができあがっております。皆様のお力をお借りして、この現実をお知らせするためのミニパネル展なども開催できたらと思っております。

” 過去のもの ” と風化させることなく、
この活動と不幸な現実を
皆様の心にとめていただけたら幸いです。

被災ペットレスキュー横浜

ニュータウン動物愛護会 日向 千絵

SOS!

東日本大震災被災動物へご支援のお願い

郵便振替：00200-3-17755 ニュータウン動物愛護会
(備考欄に震災と記入してください)

問い合わせ 080-1097-0420 日向 080-5524-7471 鈴木

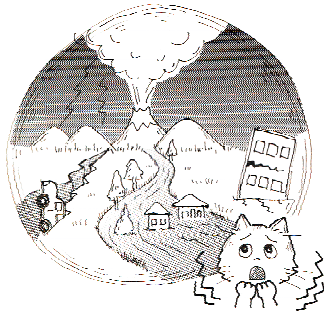
ニュータウン動物愛護会 <http://www.satooya1122.com>

ご注意！ 主にネット上などで、善意を騙るニセ募金が行われています。ご支援は信用できる団体を通して行ってください。

大地震、巨大台風、
火山噴火、洪水など

天災に見舞われた とき

ペットの命を守るの は飼い主



突然の災害で避難しなくてはならぬとき、飼っている動物は飼い主と一緒に避難すること（同行避難）にしている自治体が増えています。

避難後は、混雑する避難所で一緒に生活するか、動物を仮設のシェルターに預けることになりますが、いずれも普段の生活環境とはかけ離れた状況で、知らない人や動物と一緒に暮らすことを余儀なくされます。人は理性で状況を理解できますが、動物は住み慣れた環境から離れた理由もわからず、そのストレスは相当大きいものです。

普段から万に備え、移動用ケースやキャリーバッグに慣らしたり、他の動物とつきあえる社会性を身につけさせたりしておきましょう。

不妊・去勢手術 をしておく、避難所やシェルターでの性的ストレスを軽減することができます。また、人手も物資も不足しがちなシェルター運営を円滑にし、収容された動物がより快適に過ごせることにもなります。飼っている動物が飼い主の元から離れてしまった場合、野外での繁殖を防止することもできます。

ペット用持出袋（例）



最低でも**5日分**

★ペットシートや
フン・尿の
処理用具

救援物資はすぐには届きません！ ★リード

- ★ペットの写真（迷子さがしのポスターを作らなくてはならない
ときのために）
- ★健康の記録（ワクチン接種状況、治療中ならその内容）

★キャリーケースや ★サバイバルバック（1匹に1つずつ）

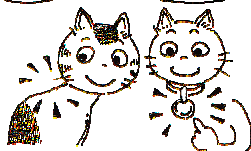


病院に行くときにも
便利な布製バック

ふたんからベッドにすれば
いざという時ストレスが減らせるよ！

作り方は 捨猫防止会 H.P. をみよネ！

<http://www.sutenekoboushikai.com>



マイクロチップや迷子札の装着など 飼い主の明示を徹底しましょう！！

DVD無料レンタル

問い合わせ：045-981-6253（18:30以降）
080-6504-5584 豊田まで



Dogs, Cats & Humans 犬と猫と 人間と

飯田基晴 監督作品 DVD

人間にもっとも身近な動物である犬と猫が
平和に安全に暮らせる社会は、
きっと人にも優しいはず。
だから、自分の周りから変えてゆこう。
そのためのヒントを探してみよう。
この映画を見たあと、
そんなふう考える人が増えてくれたら
嬉しいです。

渡辺眞子

（作家／「捨て犬を救う街」）

捨てられた犬と猫をめぐる旅が始まります

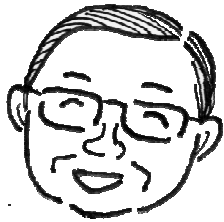
一人の猫好きのおばあさんの「不幸な犬猫を減らしたい」と言う思いから、この映画は生まれました。そして、犬と猫をめぐる旅が始まります。

完成までには4年が費やされました。監督は、ドキュメンタリー映画「あしがらさん」で路上に生きる人々に寄り添った飯田基晴。

犬と猫が歩くような低い視点から、人と犬猫の関係をしっかり見つめます。映し出されるのは、鉄柵の向こうから悲しげな目で見つめる犬、行政施設に持ち込まれる生まれたばかりの子猫たち。更には、動物愛護先進国・イギリスの姿、捨てられた命を救うため奮闘する人々の苦悩。でもそんな重苦しい現実の合間に描かれる、動物たちのほのかなユーモアが心をほぐしてくれます。「犬と猫と人間と」からは、知られざる多くの現実の先に、「かわいそう」と言う感傷を乗り越える、ささやかな希望が見えてくるはず。

人と動物のより幸せな生活のために

講師：藤田 紘一郎先生 人間総合科学大学教授 東京医科歯科大学名誉教授



テレビでおなじみ
カイチュウ博士としても有名な
藤田紘一郎先生のおはなし
とてもためになったニャ
おはなしの一部をご紹介します。

近年ペットとして 動物を飼う人が 急増しました。
それとともに ペットから人にうつる 人畜共通感染症も増えて
います。

人畜共通感染症には

狂犬病、オウム病、エキノкокクス症、トキソプラズマ症
イヌネコ回虫症、アメーバー症、Q熱、パズツラ症
猫ひっかき病、クリプトコッカス症

などがあります。

人畜共通感染症は、ときには 重篤になることもあります。
それは ごくまれです。

ペットとの共同生活を 本当によくやっていくためには、
人畜共通感染症について 十分な知識をもち、その予防法を
知ることが 大切です。

知ることがワクチンです！



知識の不足から 誤った認識が なされるものも多く、
もっとも誤解されているのが トキソプラズマ症でしょう。
いつも ネコが 犯人扱いされていますが、実際の感染源に
ネコがなっているケースは 本当に少ないのです。

日本人は 細菌や寄生虫を 悪者とし、徹底的に 排除して
きた結果、免疫力を失い、花粉症や アトピー性皮膚炎
などの アレルギー症に かかりやすい 体質になってしまいました。

★ 2歳までに ペットと触れあった子どもたちは、その後の
成長期に、アレルギー性鼻炎、喘息などの アレルギー性
疾患にかかりにくい。

Dr. P. Hessermar (スウェーデンの小児科医)

★ 酪農家も アレルギー性疾患にかかりにくい。
といわれています。

人間は さまざまな病気に
かかりますが、そのうちの30%は
心の問題といわれています。



脳卒中の後の回復率は
ペットを飼っている人のほうが
良い というデータもあります。

※ NK細胞 (ナチュラルキラー細胞) は、常に体内で
パトロールをしており、がん細胞やウイルス感染細胞
などを発見すると たちまちに強力なパワーで これらを
殺してしまう 頼もしい 『殺し屋』 です。



ペットは 心のお医者さん

ペットとの生活は 楽しいものです。楽しいと 人間の免疫力
は アップします。

欧米では アニマルセラピー (治療を目的にした動物療法)
が 盛んに行われ、多くの効果が 報告されています。
日本でも 複雑化する 社会の中で、ペットは さらに
重要度を 増すでしょう。

人と動物の より 幸せな生活のために 何より大切なこと

それは 十分な 正しい知識をもち ことです。



詳しくは
『イヌからネコから伝染るんです』
(講談社) を参照してください

区民祭り 健康フェスティバル
11月3日(文化の日) 青葉区役所にて
今年も参加します
詳しくは広報青葉10月号にてお知らせします。
楽しさいっぱい!!
みんなで遊びに
来てね
商品の売り上げは
すべて不幸な猫を増やさな
いための活動資金(不妊・去勢
手術など)にあてられます。

第10回定期総会開催（6月23日）

会員、来賓の方々に列席していただき、総会を開催いたしました。22年度の行事、決算報告と23年度の予算案承認など例年通りの議事に加えて、会長はじめ一部役員交代も承認されました。新規役員は下記の通りです。

会長	馬場 和清	馬場動物病院 院長
事務局長	辻 裕介	フォレスト動物病院 院長
会計理事	鈴木 道夫	可愛動物病院 院長
理事	太田 成江	神奈川捨猫防止会
理事	松浦 清次	青葉区保健活動推進委員会 会長
理事	日向 千絵	ニュータウン動物愛護会
理事	小林 尚子	神奈川捨猫防止会
理事	山下理恵子	ねこのようちえん 代表
理事	長澤 恵子	神奈川捨猫防止会
理事	井上満知子	キャットメイト
理事	斉藤 正美	キャットメイト
監査	滝口 純子	青葉区保健活動推進委員会 副会長
事務局員	清水香世子	キャットメイト
事務局員	田川 直子	青葉区ねこの暮らしを考える協議会 会員
顧問	富田 千秋	青葉福祉保健センター長
顧問	土田 直人	青葉区獣医師会 会長
参与	保 英樹	青葉区福祉保健センター生活衛生課長

平成23年5月26日の理事会において、

キャットメイトへの不妊・去勢手術費用の一部助成に関する会則が以下のように変更になりました。

	昨年度	平成23年7月1日より
自己負担額	オス 3,000円	オス 1,000円
	メス 5,000円	メス 2,000円

頭数に関しては昨年同様制限はありません。
ワクチン一回分・マイクロチップの費用も含まれます。

※ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

平成22年度収支決算 平成22年5月～平成23年4月

収入の部

科目	予算額	決算額
前年度繰越金	915,563	915,563
一般会員会費	212,000	148,000
賛助会員会費	70,000	40,000
獣医師会会費	162,000	156,000
寄付金	350,000	292,271
募金	150,000	254,161
補助金	69,750	69,750
雑収入	200,000	527,992
収入計	2,129,313	2,403,737

支出の部

科目	予算額	決算額
事務用品費	30,000	35,936
通信費	160,000	36,420
不妊去勢事業	750,000	692,232
適正飼育啓発事業	250,000	190,000
広報事業	300,000	125,536
新しい飼い主探し事業	450,000	41,315
会議費	50,000	0
予備費	139,313	11,424
支出計	2,129,313	1,132,863

新規会員及びボランティアさんの募集

随時募集しております。

私達スタッフは「不幸な猫を1匹でも減らしたい！」と日々エネルギーに活動していますがスタッフが足りません。お手伝いいただける方は事務局までご連絡ください。

毎月第2水曜日は楽しい

キャットメイト交流会

大好評

時間：午前 11:00～午後 4:30
場所：青葉区役所ロビー売店横

当協議会オリジナルグッズ・手作りトールペイント小物などの販売をしています

- ・猫に関する日頃の悩みなど、ざっくばらんにおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしましょう。
- ・キャットメイト以外の方もご参加いただけます。皆様お誘い合わせのうえお気軽にご参加下さい。
- ・ご都合のつく短時間の参加でもオーケーです。
- ・手作りの好きな方は、トールペイント、缶バッジ作りなどにもチャレンジしてみませんか？ 誰にでも簡単にできます。

当協議会は横浜市より、「青葉区役所と協働事業等をつながりのある団体である。」と指定され、売上金のすべてを不幸な猫を増やさないための活動資金（不妊・去勢手術など）にあてることを条件として、区役所102会議室にて商品の販売を行っています。

問い合わせ

協議会事務局 電話：080-3497-2049
青葉福祉保健センター生活衛生課
電話：045-978-2465

ご寄付のお願い

不幸な猫を増やさないための活動資金（不妊・去勢手術など）はまだまだ足りません。
当協議会ではこれからも猫との共生を目指し、活動を続けて参ります。皆様の温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。



捨てられる命をなくすために！
人と猫が幸せに暮らせるために！
どうぞよろしく
お願いいたします